

営業品目

- 炉筒煙管式タカオ FT ボイラ
オイル専焼 ガス専焼
オイルーガス切替燃焼
スモールボイラ（ボイラ技士免許不要）
特殊燃料専焼
- 廃熱ボイラ
- バイオマスボイラ
- 電気ボイラ
- 小型貫流ボイラ
- 真空式温水器
- 省エネルギー機器
- アク्यूムレータ
- 各種圧力容器
- ボイラ装置メンテナンス

株式会社 高尾鉄工所

本社工場	〒561-0826 大阪府豊中市島江町1丁目3番29号 TEL.06(6332)5751(代) FAX.06(6332)5750
東京事務所	〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目2番10号 東洋ビル TEL.03(3272)8541(代) FAX.03(3272)8547
札幌事務所	〒003-0027 札幌市白石区本通19丁目北1番86号 TEL.011(555)2583
東北事務所	〒981-0913 仙台市青葉区昭和町2番23号ノーヴスアーバンビル506号 TEL.022(728)2028 FAX.022(727)8113
名古屋事務所	〒461-0005 名古屋市東区東桜1丁目10番29号パークサイドビル栄 TEL.052(971)5471 FAX.052(971)5470
豊田駐在員事務所	〒471-0835 豊田市曙町3丁目23番地 慶生ビル TEL.0565(29)2871 FAX.0565(29)7319
九州事務所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番20号 NMF 博多駅前ビル2F TEL.092(419)2489 FAX.06(6332)5750
沖縄駐在員事務所	〒901-0415 沖縄県島尻郡八重瀬町字小城247番1 TEL.098(867)6006 FAX.098(861)9414

<https://www.takao.boiler.co.jp>

Electric boiler Takao TE type

タカオ TE 形 電気ボイラ



排出ガス 0 の次世代環境型ボイラ

電気ボイラ の特長

1 環境に配慮した次世代型ボイラ

電気加熱式のため、排出ガスが出ない環境に配慮した次世代型ボイラです。
公害届出も不要となり、設置後のばい煙測定の必要もありません。

2 熱効率が低い

排ガス損失が無いいため、100%近い効率となります。
燃焼を伴わないため、パーズが不要で起動即加熱となります。
また、回路設計によってはターンダウン比1：16も可能です。

3 付帯設備の簡素化

従来の化石燃料用ユーティリティが不要となります。
排ガスが出ないため煙道・煙突も不要となります。
非常時の系統の遮断が電源のみとなります。
燃焼室が無いので、缶体が小さく省スペースとなります。



4 低騒音

従来の燃焼機器（バーナー、燃焼空気押し込みファン）が必要ないため、騒音が出ません。

5 メンテナンスの簡素化

バーナー・燃焼空気押し込みファンが必要ないため、従来のボイラに比べ、メンテナンスが容易です。

6 蒸気の乾き度が高い

ドラム型缶体にフランジヒーターを設置するシンプルな構造となっており、蒸気室容積・蒸気発生面が大きく、水管式構造に比べて乾き度の高い蒸気を得る事ができます。

電気ボイラ導入事例

【納入実績(一部)】※ラインナップ化前

納入先	ヒーター出力	蒸気圧力	台数
某発電設備	735 kW	0.98 MPa	1 台
東京都 民間工場	400 kW	0.98 MPa	1 台
大阪府 民間工場	120 kW	0.98 MPa	3 台
九州地方 造船所	150 kW	0.7 MPa	1 台
九州地方 造船所	100 kW	0.7 MPa	1 台
広島県 民間工場	360 kW	0.8 MPa	1 台
山口県 民間工場	230 kW	0.4 MPa	1 台
茨城県 民間工場	300 kW	1.0 MPa	1 台
東北地方 民間工場	1540 kW	0.78 MPa	1 台
福岡県 民間工場	175 kW	0.18 MPa	1 台
愛媛県 民間工場	510 kW	0.1 MPa	1 台
愛媛県 民間工場	112 kW	0.1 MPa	1 台
愛知県 民間工場	1540 kW	0.98 MPa	9 台
某発電設備	2300 kW	0.98 MPa	2 台
福島県 某施設	400 kW	1.6 MPa	1 台

※ラインナップ確立前の納入実績一部となります。全国で50基以上の納入実績があります。受注生産品であった本実績を踏まえ、当カタログのラインナップでのご紹介となります。

民間製鉄工場 ～煤塵が出ないボイラの設置が要件～

大気汚染防止法上の煤塵の総量規制の影響を受け、煤塵が出ないボイラの検討が必要であった。夜間電力を使用し、9台の電気ボイラを設置。



導入の経緯、検討のきっかけ



ガスも引けない、油も使えない環境で電気のみが使用できたため、電気ボイラで当座をしのいだ。



大気汚染防止法上の総量規制の問題で、煤塵量を増やせない事情があり、夜間電力を使い運用。



安全性の問題
1. 非常時の系統の遮断が電源のみでよい
2. 燃料受入設備、配管等の設置が不要

ラインナップ

換算蒸発量 600kg/h～3600kg/h でのラインナップ展開

ボイラ型式		TE-600	TE-1200	TE-1800	TE-2400	TE-3000	TE-3600
定格出力	換算蒸発量 kg/h	600	1200	1800	2400	3000	3600
	定格熱出力 kW	376	752	1128	1504	1880	2257
伝熱面積	m ²	19.0	38.5	57.5	77.0	96.0	115.0
最高使用圧力	MPa	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98	0.98
電 源		AC440V3 相					
必要設備電力		390	780	1200	1550	1950	2350
主要弁類	主蒸気弁	40	65	65	80	100	100
	安全弁 mm	20	25	25×2	25×2	25+40	40×2
	給水弁 mm	20	25	25	32	32	40
	吹出し弁 mm	25	25	25	25	32	32
ボイラ概算質量(空)	mm	2.1	2.7	3.5	3.5	4.5	5.5
ボイラ満水時水量	TON	1.68	2.19	3.39	3.39	4.79	6.02
ボイラ運転時水量	m ³	1.08	1.52	2.52	2.52	3.45	4.49

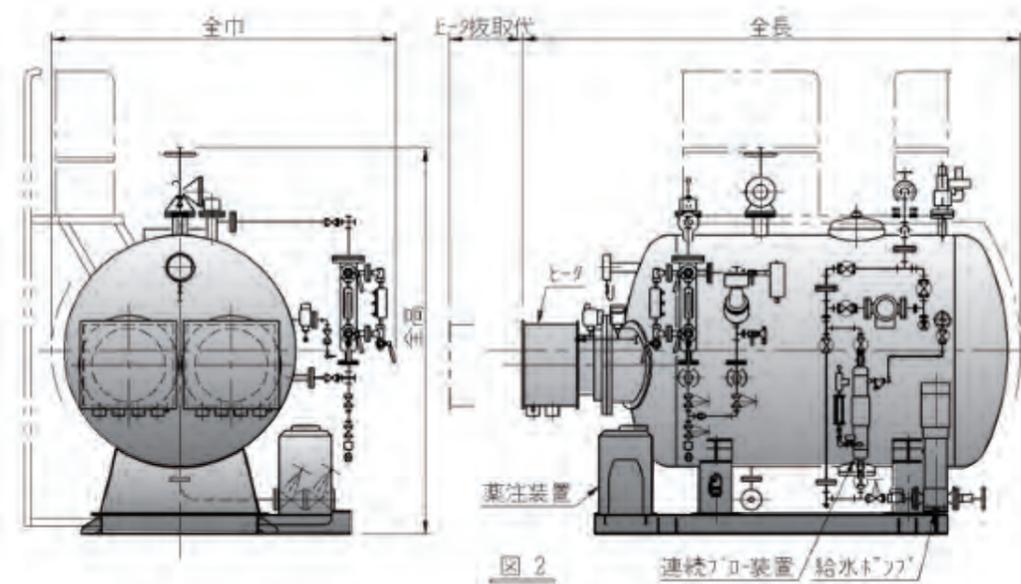
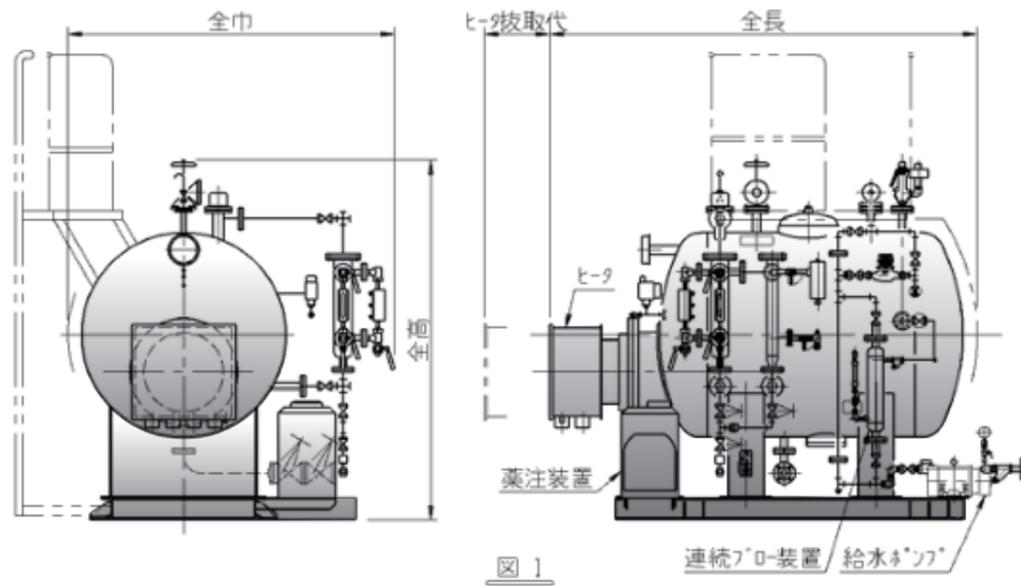
標準付帯設備

・給水ポンプ	1台 (架台上組込)	・電極式水位検出器	1式 (架台上組込)
・連続ブロー装置	1台 (架台上組込)	・フロート式水位検出器	1式 (架台上組込)
・薬液注入装置	1台 (架台上組込)	・動力制御盤	1面 (別置)

別置き制御盤のサイズについては、容量・仕様ごとに様々となります。ご計画時にお問い合わせください。

概略寸法

ボイラ型式	換算蒸発量 ton/h	概略寸法 mm				
		図	全長	全幅	全高	ヒーター抜取代
TE-600	0.6	1	2460	1880	2070	1750
TE-1200	1.2	1	3010	1880	2190	2300
TE-1800	1.8	2	3120	2150	2400	2300
TE-2400	2.4	2	3120	2150	2420	2300
TE-3000	3.0	2	3350	2350	2700	2300
TE-3600	3.6	2	3480	2550	2900	2300



電気ボイラ 配管系統図

